

2021年度 講師派遣活動記録

整理番号: 20210603

事業名	環境教育およびエコロジカルライフを実践するための講座開催事業		
活動名	ごみ減量啓発講座		
担当者	高根 美保	主催団体	NPO法人エコライフはままつ
事業区分	講師派遣	事業サイクル	継続事業
活動の目的	環境行動の実践者を増やす（家庭ごみの減量）		
実施内容			
活動日時	2021年6月3日(木)9:30~11:00		
活動場所	西区雄踏町 雄踏パーク ふれあいサロン		
活動者名	高根美保		
詳細	<p>私たちの生活ごみを減らす工夫</p> <p>(1)SDGsって何？</p> <p>(2)浜松市のごみ現状</p> <p>(3)雑がみをリサイクルしてごみ減量</p> <p>(4)食品ロスを減らしてごみ減量</p> <p>(5)海洋プラスチックごみ問題</p>		
事業の成果	<p>参加者: 35名</p> <p>配布物 ごみ減量リーフレット 40枚、雑がみ啓発クリアファイル 40枚、浜松市西部清掃工場資源物集積コーナーチラシ 40枚 雑がみ啓発マグネット 40枚、雑がみ回収袋 40枚、食品ロスメモ帳 40冊 生ごみそのまんまホイップ 80枚</p> <p>・「持続可能な開発目標」12・14資源を大切に使い、海の豊かさを守ることなどの説明を家庭から出るごみから説明しました。</p> <p>・新聞や本のリサイクルについては、行動しているようでしたが「雑がみ」になると分別に自信がないようでした。今回、雑がみの商品見本を持参することで理解していただけたようです。また、出し方についても紙袋に入れるだけでなく色々な方法を紹介することで、行動できる範囲が広がったようです。</p> <p>・紙容器リサイクル事業の説明を追加。当日のボランティアスタッフさんには、持参していただくことで参加者の理解が深まったようです。</p> <p>・環境行動の優先順位の説明では、普段行動していることが環境にやさしい行動であることが分かり意味ある行動として捉えることが出来たようです。(空腹時に買い物に行かない。まとめ買い(セット購入)しない。必要な分購入する。賞味期限の商品は、五感を使って廃棄を減らす。生ごみは干してから出す)</p> <p>質疑応答 Q: 紙パックのリサイクルマークについて Q: 紙マークについて Q: 電気式生ごみ処理機の補助について</p>		
事業の課題	SDGsの言葉の意味が分からない参加者が大半を占めました。また、浜松市が「SDGs未来都市」である認識もありませんでした。SDGsとごみの話がつながる説明は、難しかったようです。		

記録添付

